農地利用の流動化・集約化に関するアンケート

当市では、地域農業の将来や農業者の皆様ご自身の経営の未来について考えていただくきっかけとするため、農地の流動化・集約化に関するアンケート調査を実施することといたしました。以下の設問にお答えいただき、アンケート調査への御協力をお願いいたします。

１．あなたの農業の経営規模について、教えてください。
（該当するものを〇で囲んでください）
①50a 未満　②50a～100a　③100a～150a　④150a～200a　⑤200a 以上

２．あなたやあなたの地域が抱えている問題点は何ですか。
（該当するものを〇で囲んでください）　※複数選択可
①後継者がいない　②農地が分散している　③耕作放棄地の増加
④農地への作付が困難（基盤整備が必要）　⑤機械や施設の不足　⑥人手の不足
⑦特になし　⑧その他（　　）

３．農地中間管理機構を利用して農地の貸付を考える場合、気になる点は何ですか。
（該当するものを〇で囲んでください）　※複数選択可
①自分が希望する受け手に貸したい（誰に貸付けられるのか不安）
②子供や家族といった後継者に経営移譲することを優先したい
③他の貸借方法と比べてメリットが分かりにくい
④手続きが分かりにくい
⑤特に気になる点はない（現状の農地中間管理機構を利用して担い手に貸したい）
⑥その他（　　）

４．今後、自分の住む地域で営農活動が持続的に続けられ、将来的に農地の維持が図られていくためには、農地中間管理機構をどのように活用し、地域の担い手に農地を集積すべきだと思いますか。（該当するものを〇で囲んでください）
①地域に受け手となる担い手がいれば、今後も積極的に機構を利用して農地を集積すべきだ
②地域に受け手となる担い手が現れるよう、農地の大区画化や基盤整備をまずは優先すべきだ
③農地の出し手となり得る農業者の掘り起こしをすることが継続的に必要である
④現在の農地貸借状況（農地法 3 条による貸借や特定農作業受委託契約など）を見直し、機構を通じた農地貸借に切り替えていくべきだ
⑤その他（　　）

５．その他（今後の地域の農地の集約方針や農地中間管理機構の制度等について、御自由に記載ください）

（　　）